日刊 〔1〕「除月曜」 昭和25年10月6日 第三種郵便物認可 昭和25年7月17日 運輸省特別扱承認第684号 磐城日日 昭和28年 1953年 7月19日（日曜日） 第887号

磐城日日
発行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表387番
編集兼発行人 長瀬壽一

万端の準備全く成り あす港まつり開幕

豪華小名浜に海の祭典

三万町民と共に躍進小名浜町が愛町の至誠を謳す海の祭典第五回港まつりは万端の準備全く成つて、いよいよ明二十日から三日間豪華絢爛の祝典繪巻を繰り展ろげる

梅雨の憂鬱を吹つ飛ばし眞夏の太陽と共に海の健康を謳歌する〃港まつり〃を迎える町は、店頭装飾に、夜間照明に見違えるほどの美粧をとらして一際鮮かに若返つた商店街から早くも祝福のメロデーが流れ 海浜では見事に完成した脱衣場その他の海事施設が涼風をはらんで客を待ち港湾ちかく設置された水族館には數十種の魚族が思い思いの姿に涼を呼んで遊戈し子供らの關心を集めて早くも大繁榮

※ ※

一方陸上行事では野球、庭球が一中校庭で肉体の祭典を繰りひろげ、移動演藝、懸賞盆踊りなども一齊に初日に蓋明けして町を歡樂一色にぬりつぶし、そして夜は粋をこらした照明コンクールの一齊照射に港の町を不夜城と化す かくて第二日に入り水泳大会、小舟競争と海上に波しぶきを挙げ、その夜港の空に五彩の花々を咲かして華やかに花火大會が行われる

※ ※

第三日は各種競技の決勝戦が各場ごとに行われて陸上競技の總決算、一方海では珍技海上角力が港まつり海上行事の棹尾を飾つて抱腹絶倒の哄笑に万コクの凉を添える

野球大会の組合せ決定

港まつりの一環としてこのほど野球大会の組合せが抽せんにより次のように決定した

第一日（二十日）
①勿来クラブ―磐崎礦（十時より）
②日本水素―鹿島礦（十二時より）
③常磐礦業所―呉羽化
④内郷礦―磐城通運（二時より）

第二日（二十一日）
①の勝者―全小名浜（九時より）
②の勝者―大昭炭礦（十一時より）
③の勝者―植田クラブ（一時とり）
④の勝者―常磐イーグルス（三時より）

第三日（二十二日）
①の勝者―②の勝者（準決勝九時より）
③の勝者―④の勝者（全十時より）
決勝＝午後二時より

教委への試金石

小名教委會

教科書採擇問題を討議

小名浜町教育委員会七月定例会は十九日午後一時から公民館ホールに開かれ二十九年度教科書採擇に關する件その他を審議する 教科書採擇は教育委員会發足の重要な要因でありまた各委員は郷土に即應した教科書の使用を公約にしており、その良識のウンチクを傾注しての愼重な審議が強く要望されている 二十九年度教科書は先に平に於てその展示会が開かれ、委員、教職員など教育關係はこれを閲覽検討して來たが、新採用などは經濟的な理由から父兄の反對も考察され、その困難性を如何に解決するかに二十九年度教育の大勢を決する教科書だけに教育委員会發足以來初の試金石として注目を集めている

人事問題暗礁へ

石城管内小中学校長会

縣教委石城出張所では十七日午前九時半より平一小に管内小中学校長會を開き次の会議事項を協議した ①教科書採擇について②学生寮建設について③学制八〇周年記念行事について④文書報告⑤認定講習について⑥教育公務員の自覺昂揚⑦学校管理の強化⑧人事に關する申合せ事項の反省検討について⑨學校圖書館運営の充實について⑩夏季生活指導の徹底について以上何ずれも異議なく可決を見たが⑧の人事に關する反省についてはセンセーションをまき起こし各校長一齊に人事不調整を強調、これは僻地に多お見られ、有資格教師が少くないことと學科目担任の平等化を計るべくよき人事調整を要望したもの

泉町教育委員會

泉町教育委員会では十七日午後一時より定例委員会を開き、小中学校のカリキュラムの件、教科書採擇決定の件などについて協議を行つた

植田、泉の町境争い

廿日現地懇談

泉町須賀蛭地先に散在する入植者部落と隣接植田町入植者間にしばしば植田、泉両町境界争いで衝突を來たしたので、このため、双方町当局が乗出し二十一日午前九時より現地に於て両町の境界線について話合うことになつた

小名高野球部猛訓練

泉公に合宿

全國高校野球縣予選を眼前にひかえ濱通り高校のホープ縣立小名浜高等学校野球部では十五日から十九日まで馬目主將ほか部員ら三〇名は泉町公民館に合宿訓練をなし、縣下高校制覇を目指し、毎早朝より炎天下猛練習を行つている

天氣豫報 18

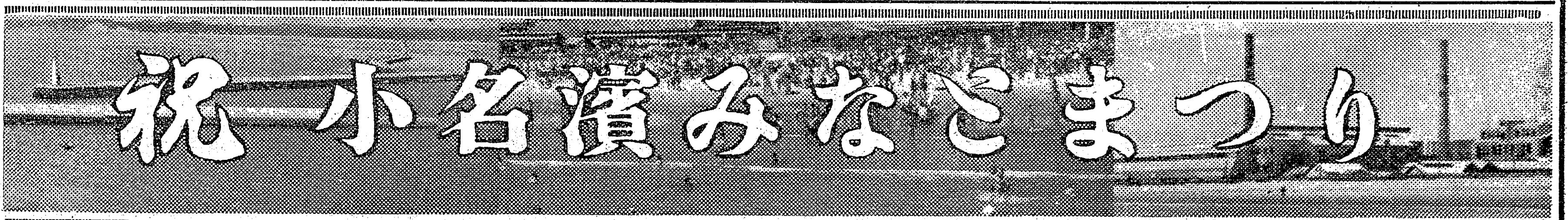
「本日」南よりの風曇時々晴れの天氣で處により一時俄雨がありましよう

「明日」南よりの風、曇り日中は晴れることもありましよう

「海上」明日とも南よりの風多少風波がありましよう

急募
印刷工（経験者）
小名浜町
長瀬印刷株式會社
TEL219・387

＝21日マデ＝
海賊船長
港へ來た男
上映中★
金美館★



小名浜町役場
町長 水野政次郎
助役 長瀬國三郎
收入役 野崎昇太郎

小名浜町議會
議長 長瀬彰義
副議長 馬上喜一
議員
比佐政種 飯田宗秋
小林仁一郎 鈴木イセ
松原文吾 小野務平
高木嘉一郎 小松直千賀
木村祐 石井幸平
箱崎滝三郎 立花秀吉
野崎貞行 木田谷平
齋藤誠吾 飯塚新四郎
金澤勉 薄井大一
西丸伝 長瀬啓一
菅原勳 橋本佐多壽
飯塚務

暑中御見舞申上げます

小名浜地區警察署
署長警視 鈴木龍之助
外署員一同

県会議員
小野義一

小名浜電報電話局
局長 新妻新量

小名浜郵便局
局長 佐藤幸助
庶務課長 遠藤武三
郵便課長 猪股峯二
保険課長 金成定一

小名浜醫師團
名杏会

小名浜町内校長会
第一小学校長 高木長年
第二小学校長 鈴木鵬
第三小学校長 小松藤治郎
第一中学校長 鈴木孝雄
第二中学校長 佐藤瑞枝
縣水産高校長 安達新
小名浜高校長 大竹貞治

小名浜町消防署
署長 御代龜太郎
次長 田中勝榮

小名浜町消防團
團長 志賀要平
副團長 樋口二郎

小名濱鐵工協同組合
理事長 鈴木五松
小名浜町竹町二七
電話四二九番

浜通り冷凍協議會

本田葬祭具店
小名浜町西町
電話五四三番

小名浜質屋組合
小名浜町
喜久屋質店 古港
大一屋質店 中島
門馬質店 上横町
江名町
叶屋質店 本町
新妻質店 南町
マルタ質店 本町
坂木チウ質店 北町
佐川質店 竹町
坂本ウン質店 北町
カネマン質店 定西

小名濱パチンコ組合
パール第一・第二遊技場
百万弗第一・第二遊技場
光遊技場
センター遊技場
カヂノ遊技場
丸井遊技場
大衆娯樂

寶屋薬局
小名浜町古港
電話三七〇番

小名濱劇場
劇場の湯
高木武士
小名浜町西町
電話二三八番

三馬弘進代理店
ゴム製品一式
小島ゴム店
小名浜町第一小前
電話三四〇番

各種紳士靴＝婦人靴
御注文は当店へ
スワ靴店
小名浜町古港

各種板硝子 出張施行
建築・自動車用
大橋ガラス店
小名浜町渚廻り
電話呼二一九番

小泉屋書店
小名浜町本町
電話一二二番

柏屋書店
小名浜町西町
電話六八四番

セトモノの百貨店
渡辺セトモノ店
本店西町 支店古港

船具一式
小名浜水産KK
社長 水野政次郎
電話四三番

御贈答用には
大菱の履物を
小名浜町中島
電話四一一番

各種銘木 建築材
目澤銘木店
小名浜町竹町
電話六五九番

朝日第二製氷工場
小名浜町榮町
電話二六九番

會社に差押え旋風

極點をゆく港灣争議

全員退職と云う全國的にも稀に見る事態に迄発展した〃港灣争議〃は争議発生以来実に三カ月、その間平和的解決を策して杉山水素労組長、地労委等が斡旋に入つたが頑迷固陋な西丸社長はこれに應ぜず一蹴した爲遂に平和解決の路を斷たれ、労組は平地區共斗の全面的支援を受け会社を相手どり賃金退職金四十万の支拂請求を地裁平支部に提訴　財産假差押へを申請して法延斗争に発展したが十八日午前十時地裁平支部は労組の申請に基き、港灣会社が現在使用運轉している七五KWのトランス二基、コンデンサー一基、グレーンの四〇KW五三馬力巻揚モーター一基、七　五KW十馬力十五KW二〇馬力の走行モーター二基の假差押えを執行した

港灣社長西丸猛氏はこの差押え処分に対し

何でもやりなさい、驚きません、すぐ差押え解除申請をするから…とウソぶいている

港灣会社に批判の照射

労組徹底膺懲を宣明

商港小名浜の生命とも云うべき港灣運送業務を擔う同社の争議は商港小名浜の発展途上に大きなガンとなつて囁くは町勢発展にも甚大な影響を與えて早期解決は町民の輿論であるにも関らず、感情的に對峙して何ら誠意を示めさずに問題の解決をいやが上にも紛糾させている西丸社長は一人港灣会社労組員を殺ろすのみならず大きく小名浜の發展を阻害するものとしてその批難はようやくにして高まつている

なお労組のとつた財産假差押えに對し会社が誠意を披れきし二週間の猶予期間内に退職金を支拂えば問題は解決するが西丸氏のウソプク如く差押解除を申請するとなると愈々法廷に於て事の黒白を辯ずることになる

港灣労組は勿論、平地区共斗は〃労組者の敵〃と西丸氏にレッテルを附し法の許に斷乎膺懲すると語っている

海水浴客に臨時列車

海水浴シーズンを迎え國鐵では混雑が予想される旅客輸送を緩和し万全を期そうときようから次の通り列車增發臨時運転を行う

小名濱方面永崎ゆき平發七、五五、小名浜着八、四五、永崎着八、五五

かえり永崎發一五、四五小名浜着一六、一五、平着一七、〇八

四倉方面久の濱ゆき（一九、二〇、二四、二五、二六、八月一、二、六、九、一六日のみ）平發九、〇一四倉九、一六、久之浜着九、二五

かえり久之浜發一六、〇〇四倉着一六、〇七平着一六、二二

品質本位　新柄の店

樋口呉服店

小名濱町　電三〇四

教育懇談会

十八日泉中で

泉町中學校父兄會は十八日次の時間割で行われた

午前九時より授業參觀、仝十時より校長講話、仝十一時より正午まで教育懇談

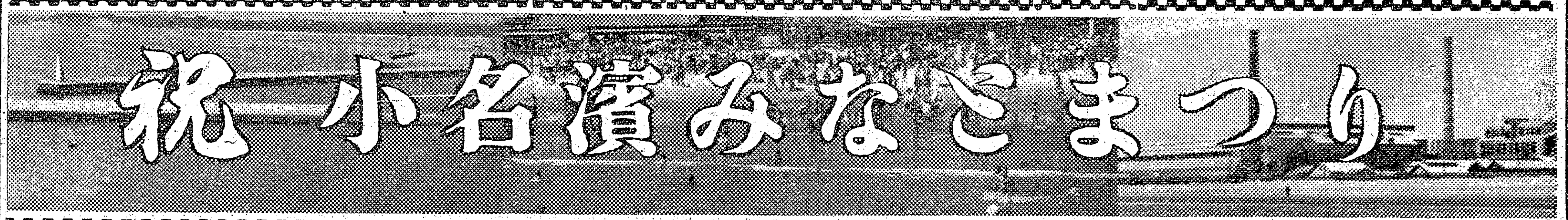
鮫川の花火大会

商工会晝行事の珍趣向

植田町商工会（会長安島氏）では来る二十五日鮫川川開花火大会の午前九時より午後六時までのヒルの部の行事として種々検討していたがこの程滯米六ケ月の巡業を終へて歸國した帝都一のチンドン演藝團　喜樂家一行十名）を招いて来町した観客の目を樂しませることになつた

洋航歸りの喜樂家一行は先に全國チンドンコンクールに於いて一等當選を初めNHK放送のオナジミでもありチンドンと街頭立廻寸劇は日本一の折紙を付けられておりその熟演は地方初の出演だけに相當に期待されるものがある

また大会の二十五日より三十一日までの一週間、植田町衣料店の連合大賣出しがある、この連合大賣出しは景品付カラくじ無しで各商店の店頭には早くも景品の山で一ぱいである



福島縣小名浜町字榮町五
小名浜漁業協同組合
組合長理事　三代義勝
主事　小野田基
電話（總務部二番三五番　販賣部二八〇番　製氷冷凍部五一番）

福島縣小名浜町字榮町
小名浜機船底曳網漁業協同組合
組合長　田島繁夫
参事　西村嚴
電話（總務部五五・五六番　出荷部五一七番　製氷冷凍部五九一番）

小名浜みりん干加工業協同組合
組合長　安川市郎
副組合長　小松利一
電話八二番

暑中御見舞申上げます

みりん干　福島縣小名浜町
日東物産商会
安川市郎
電話三二五番

小名浜町愛宕下
小名浜農業協同組合
組合長　長瀬誠明
電話七四番

小名浜町大字野田
玉川農業協同組合
組合長　駒木根忠三
電話三三四番

小名浜町愛宕下
株式会社　**小名濱中央青果市場**
電話二八六番

小名浜町字隼人
小名濱運送株式会社
専務取締役　高橋幹夫
電話一〇六番

日本水素工業株式会社
取締役社長　荘野精二郎
工場　福島縣小名浜町字高山
工場長　大場園雄
TEL501—5・119

小名濱旅館組合
万里荘
福田屋
むさし屋
吉田屋
錦盛館
新米
山大
諏訪館
玉屋
ハトバ荘
鳴子
若葉館
小瀧
静館
啓浜館

小名浜臨港鉄道株式会社
取締役社長　浦田文二郎
常務取締役　眞木弘
總務部長　小野信一
電230・272番

小名浜観光協会
会長　佐藤政治
副会長　門馬一

小名浜海水浴脱衣場組合
たけや電三〇六
みなと〃四三〇
福島亭〃二〇
来々亭〃五二四
天狗〃二八四
金よし〃三二八
としまや〃四九七
東山
新田屋
◇團体申込は大歓迎

石川ミシン商會
小名浜支店
小名浜町古港
電話四六六番

日星製作所
所長　中崎馨
小名濱町林ノ上
電話二五六番

小名浜町織維商組合一同

小名浜町金融團
東邦銀行小名浜支店　支店長　譽田政雄　電話一四九番
七十七銀行小名浜支店　支店長　鈴木武雄　電話五・六二三番
常陽銀行小名浜支店　支店長　浜野篤吉　電話三〇三番
福島相互銀行小名浜支店　支店長　鈴木與四光　電話五三六番
大東相互銀行小名浜支店　支店長　阿部昇三　電話九三番
小名浜信用金庫　理事長　志賀要平　電話一一二番

船具・漁具・工具●金物
塩屋商店
小名濱町古番　電39番

吉田屋商會
店主　吉田禎介
小名浜町定西39
電話89番
支店　小名濱高校前

小名濱建設業協會
三崎組…太田武彦
常磐土建…草野道人
内田組…内田清吉
前澤組…前澤由五郎
深山組…深山東八
作山組…作山安太郎
柳内組…柳内庄八
松原組…松原英次郎
鈴木組…鈴木一
小原工務店…小原松之助
大友工務店…大友孝之進
大平工務所…大平貞
野口工務所…野口繁
丸中組…清水喜一
海老根工務店…海老根竹松
小名浜土木…坂本二郎

和洋紙　事務用品　学用品
新興紙店
小名浜町西町
電話呼三八〇番

柏屋食料品店
小名浜町中島
電話五六二番

漁具・船具類　古物一般
柳商店
小名浜町古港
電話三五一番

中華料理
永華
小名浜町
電話四八二番

ジョッキで生ビール　生壽し　蒲焼　仕出し
金時
小名浜町駅前
電話一二八番

港まつりと伴なって貴女の髪の美しさは
本田美容院
小名浜町中明神町十二

夏の榮養は肉食より
佐川肉店　小名浜町上横町　電話六四六番
中野肉店　小名浜町本町　電話二九八番
丸八肉店　小名浜町本町　電話一一七番
鳥桂　小名浜町八橋本　電話四九八番

夏の魅惑生ビール
ポレロ食堂
電話五八〇番

船具漁具　合資会社
小林船具店
小名浜町古港
電話三七五番

株式会社
村山栄次商店小名浜工場
小名浜町古港
電話四七三番

うまい！アイスクリーム
松田屋
小名濱町中島
電話四二番

椅子修繕張替　室内装飾
三光椅子店
野口重男
小名浜町後宿二三

日本石油特約店
関彰商店小名濱支店
支店長　渡邊文彦
電話三六七番

龜井商店小名浜支店
支店長　佐藤幸三
電話二〇七番